

事務事業評価シート

事業種別	継続	単独	事業類型	ソフト事業	1次評価のみ対象分
------	----	----	------	-------	-----------

コード	名称		区分	コード	名称	
事業名	153	交通安全対策経費	会計	01	一般会計	
基本施策	12	犯罪や交通事故を未然に防ぐ	款	02	総務費	
施策	2	交通安全意識の高揚	項	01	総務管理費	
			目	15	交通安全対策	
			細目	101	交通安全対策経費	
			細々目	01	交通安全対策経費	
基本計画該当頁	86	担当部課	コード	552000	評価者氏名	川本 哲
行革大綱の重点事項番号		名称		伊賀支所 生活環境課	連絡先	45 - 9104 (内線) 220

事業の計画・内容

事業目的	対象等(何が、誰が)	成果(どうなるのか)
地域住民	(対象件数)	交通ルールやマナーなどの啓発により、交通安全意識の高揚を図り、交通事故につながる安全な地域社会ができる。
開始年度	平成 年度	関連事業
終了年度	平成 年度	根拠法令・要綱等
本年度事業内容	1、交通安全対策啓発活動(全国交通安全運動年2回、交通安全県民運動年2回)期間に合わせて啓発用チラシの各戸配布 警察及び交通安全協会と連携して交通安全運動期間中に担当課職員と支所管理職員による街頭啓発を8回実施 交通安全協会、学校及び地域などと取組調整 2、三重県交通災害共済事業への加入促進 各自治会(28区)に、三重県交通災害共済事業の加入促進を図り、取りまとめを依頼	状況変化等

整備内容

1 建設用地	千円
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	

事業実績

活動指標	単位	実績値		目標値	
		H17	H18	H19	H20
街頭啓発(交通安全バレード)	回	実績 8	目標 8	8	8
交通災害共済加入者数	人	実績 7,131	実績 6,935	7,000	7,000
		目標	目標		
		実績	実績		
		目標	目標		
		実績	実績		
		目標	目標		
		実績	実績		

運営体制

1 運営主体	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 民間委託等
委託先	() 人
2 配置(予定)人員	
3 年間運営費	千円
4 市内の類似施設	

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
			H17	H18	H19	H20
交通災害共済加入率(加入者数/地域内人口)	地域内人口を分母とし、加入者数を分子とする比率を指標としました。	%	目標 70 実績 66	目標 70 実績 64	70	70
			目標	目標		
			実績	実績		

評価

評価項目	ポイント	評価項目についてのコメント
必要性	4	市民の交通安全意識の高揚を促進し、交通事故のない安全な地域社会の実現のため必要がある。
有効性	4	住民主体の安心・安全なまちづくり活動として、住民自治協議会が取り組む啓発活動の促進を図る。
達成度	3	ほぼ事業計画のとおり実施。
効率性	4	本庁予算に統一することによりコスト削減の余地がある。

総合評価

総合評価	事業の方向性	改善についての取り組み
A	現状維持	関係機関や各種団体などと連携強化による啓発活動等の取り組みを進める。特に、住民自治協議会が行う住民主体の活動に結びつける。

年度	進捗状況	平成17年度 決算内容				平成18年度 決算内容				平成19年度 計画内容				平成20年度 計画内容			
		事業内容	数量	単位	金額(千円)	事業内容	数量	単位	金額(千円)	事業内容	数量	単位	金額(千円)	事業内容	数量	単位	金額(千円)
	委託				8				8				8				8
	工事																
	進捗率(%)																
事業投入人員		人件費(B)	0.2	人	1,440	人件費(B)	0.2	人	1,440	人件費(B)	0.2	人	1,440	人件費(B)	0.2	人	1,440
フルコスト(A)+(B)					1,448				1,448				1,448				1,448

事業費(人件費除く)の財源内訳

(A)	事業費	金額
Aの財源内訳	国庫支出金	8
	県支出金	
	地方債	
	受益者負担	
	その他	
	一般財源	8
	計	8
備考	特定財源の名称・補助基本額・率 地方債の区分と充当率等	